

県議会だより いしかわ



石川県議会
マスコットキャラクター
石若丸
いし わか まる

令和2年第1回石川県議会定例会は、令和2年2月25日から3月23日にかけて開催されました。知事からは、令和2年度当初予算をはじめとした諸議案が提出され、今後とも「個性」を磨き厚みを加え、「交流」の拡大を図るとともに、「安心」の確保に万全を期すことにより、「安心と躍動が進化する ふるさと石川」の実現に全力を傾注していくとの説明がありました。これを受けて県議会では議案と県政の諸課題について活発に質問を行い、議論を交わしました。

また、新型コロナウイルスの感染が広がる中、国民の不安を解消し、命と健康を守ることを最優先に、総合的かつ強力な対策を講じる必要があることから、県議会では、国に対して新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める意見書を採択しました。今後とも県民生活の安全・安心がしっかりと確保されるよう、力を尽くしてまいります。

新型コロナウイルス感染症への対応など 安全・安心に向けて議論



今 号 の
トピックス

- 令和2年第1回 石川県議会定例会
- 特別委員会 令和元年度活動レポート

石川県議会
第1回定例会
2/25～3/23

令和2年第1回 石川県議会定例会が開催されました

令和2年第1回石川県議会定例会は、2月25日から3月23日にかけて開催。知事から提案のあった議案や県政のさまざまな課題について活発に質問を行い、議論を交わしました。その一部を紹介します。

主な質問と答弁

新型コロナウイルス対策について

Q. 部局横断で常に情報を共有し、総合的な対策を迅速に行うべきと考えるが、どうか。

A. 新型コロナウイルス感染症への対策について、2月17日には国内の感染状況を踏まえ、速やかに警戒本部を設置し、相談窓口の拡充や検査体制の強化などに取り組んできた。県内初の感染者が確認された21日には警戒本部を対策本部に引き上げ、県内全域での医療提供体制の拡充を図っている。感染者については濃厚接触者を含めた調査を確実に実施し、濃厚接触者に対しては、健康観察と14日間の自宅待機をお願いするとともに、必要に応じてPCR検査を実施するなど感染拡大の防止にも取り組んでいる。今後とも県民生活の安全・安心の確保に向け、状況の変化に応じた適切な対策を全庁挙げて迅速に実施していく。

北陸新幹線の県内全線開業について

Q. 一層の周知を図るための情報発信など、機運の醸成にしっかり取り組むべきと思うが、意気込みを聞く。

A. 令和5年春の県内全線開業に向けて、情報発信を含めた機運の醸成に取り組んでいくことが重要であり、令和元年度は、高架橋などの延伸工事の空撮映像の発信や、南加賀地域の魅力発信のフォトコンテストなどを実施した。令和2年度は新たに、新幹線の工事の様子を見学するツアーを実施し、参加者にSNSなどで情報発信してもらう取り組みを進める。3年後に迫った全線開業に向け、開業効果を最大限に引き出せるよう、機運の醸成にしっかりと取り組む。



国立工芸館の移転・開館について

Q. 国立工芸館の移転は地方創生のモデルケースであり、開館に向けた一層の機運醸成を図り、本県工芸の裾野拡大を図るチャンスと考えるが、思いを聞く。

A. 国立工芸館の開館は、工芸王国石川の文化の土壌に厚みを増すと同時に、本県工芸の裾野拡大を図る上で絶好の機会と考える。国立美術館のネットワークを活用し、全国の工芸作家を招いた講演会の開催や工芸製作体験イベントを開催するなど、県民の方々が工芸に親しみをもち、理解を深めるための取り組みを進める。国立美術館や金沢市と連携しながら、開館に向けたさらなる機運の醸成を図るとともに、開館を契機とした本県工芸の裾野拡大にもしっかりと取り組む。



首都圏アンテナショップについて

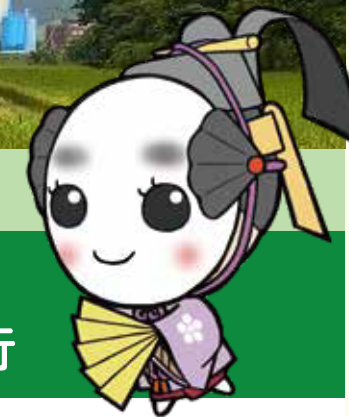
Q. リニューアルオープンの告知をどのように行っているのか。また、リニューアルオープン後は首都圏での情報発信拠点としての機能をどのように高めていくのか。

A. アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」のリニューアルオープンを広く周知していくため、品川駅や秋葉原駅、池袋駅といった首都圏主要駅で出張販売を実施したほか、最寄りの有楽町駅のホームドアへの広告掲出や、山手線車両内の電子広告での配信により、周知を行っている。リニューアルにより拡充したイベントスペースの積極的な活用や、JR東日本グループが運営事業者である強みを生かし、首都圏の情報発信拠点としての機能を一層果たしていきたい。



優良な種子を生産・普及し品質確保と安定供給を！

今定例会で議員提案 石川県主要農作物種子条例が施行



私たちの食卓に欠かせない米・麦・大豆（主要農作物）は、石川県の土や水、気候に合った品種が生産されており、その種子を生産するには他の品種が混ざらないよう厳しい品質の管理が必要です。そのため、「主要農作物種子法」（以下、「旧種子法」）で優良な種子の原種などの生産や審査を都道府県が行うと決めていましたが、増加する多様なニーズに対応できるよう、平成30年4月に廃止され、全国一律の義務付けがなくなりました。

しかし、石川県議会では、主要農作物について県内の種子生産者が安心して生産し、将来にわたって品質を確保することが非常に重要と考えています。そこで、昨年6月

以降、種子生産現場を視察し、県の取り組みや関係者の意見を聞きながら、議論を重ね、議員提案条例として「石川県主要農作物種子条例」を令和2年第1回石川県議会定例会で提案し、可決しました。

同条例では、旧種子法で定めていた県の業務を引き続き行うとしたほか、優良な種子の生産と普及を推進するため、種子生産者の育成・確保、種子生産技術の継承など、人材面に重点をおいた規定を設けました。県議会としても、条例制定を機に、主要農作物の優良な種子の生産と普及を推進し、米・麦・大豆の品質の確保や安定的な生産に、今後より一層、積極的に取り組んでいきたいと考えています。



種子生産ほ場（大豆）



種子調整センター



県議会定例会・委員会での質問内容は、
県議会ホームページや議会図書室でご覧いただけます。

※県議会ホームページは「石川県議会」と検索してください。
スマートフォンやタブレット型端末でもご利用いただけます。



特別委員会 令和元年度活動レポート

特定の事項について専門的に調査する必要がある場合に設置される特別委員会。
設置された3つの特別委員会の令和元年度の取り組みについてレポートします。



国の登録有形文化財を生かした集客に力を入れている
鉄道事業を調査(天竜浜名湖鉄道)

地方創生・新幹線対策特別委員会

いしかわ創生総合戦略をはじめ幅広く議論

地方創生・新幹線対策特別委員会では、人口減少対策、地域活力の維持・向上、新幹線の整備、中小企業の振興をテーマに議論しています。令和元年度は、いしかわ創生総合戦略の実施状況の検証、北陸新幹線県内全線開業や大阪までの全線整備への取り組み、移住・学生Uターンの促進などについて議論を深めました。



盆栽の戦略的な海外展開を調査 (JETRO香川)

観光・文化スポーツ・海外対策特別委員会

交流人口拡大や文化振興、スポーツ活動の充実に向けて

観光・文化スポーツ・海外対策特別委員会では、観光や交流の促進、交流・交通基盤の整備、文化の振興、スポーツ活動の推進と海外戦略に関して議論しています。令和元年度は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えた海外誘客、「いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭」をはじめとした文化事業、国立工芸館の開館に向けた機運の醸成、今年オープンする金沢港クルーズターミナルの整備などについて議論を重ねました。



台風19号による豪雨でも洪水対策に機能を発揮した
首都圏外郭放水路を調査 (埼玉県春日部市)

災害・県土強靱化対策特別委員会

災害に対する備え、県民生活の安全・安心の確保に向けて

災害・県土強靱化対策特別委員会では、災害対策、県民の安全・安心、県土の強靱化に関して議論しています。令和元年度は、石川県強靱化計画の実施状況をはじめ、豪雨災害に備えた治水対策等について県の取り組みをたどりました。このほか、住宅の耐震化促進や老朽空き家対策等の住環境の安全・安心の取り組み、CSF(豚コレラ)対策、新型コロナウイルス感染症に係る対応などについて幅広く議論しました。

県議会の活動を伝える広報紙

県議会
だより
第32号

編集・発行 / 石川県議会 (年4回発行)
令和2年3月31日発行

県議会の傍聴や見学ができます！

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会 ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索



県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。



メールアドレス

gikai@pref.ishikawa.lg.jp